



## 全国学力・学習状況調査結果から(3年生)

2年ぶりでコロナ下の実施となり、一斉休校や分散登校などが学習面や生活面でのどのように影響しているのかが、とても気になる今回の調査でした。すでに新聞などで、調査結果の概要や平均正答率などが公表されましたが、本校の結果は次のとおりでした。

### 【国語】

全国の平均正答率より高かった問題	全国の平均正答率より低かった問題
話合いで司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する
「反対の結果をもたらした」について、このことがわかる登場人物の様子を文中から抜き出す	文章を読んで、相手に事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く
意見文の下書きの構成について自分の意見を書く	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する

・意見文の下書きの構成に、自分の意見を書く記述式の問題では、大きく全国平均を上回っていた。

・一方、同じ記述式でも、文章に表れている登場人物の様子を捉えて自分で考えを書く問題や、複数の条件下で自分の考えを書く問題では、正答率が低く、無回答率が全国を大きく上回っている。今後は、まとまった量の文章を正確に読み取り、条件に沿って自分の考えを書く力をつけていくことが必要である。

・目上の相手の場所に自分が「行く」場合、「参る」「うかがう」を使うことは理解しているが、「謙譲語」であることを理解できていない人が多かった。敬語の種類について復習し、日常生活で使えるようにしておこう。

### 【数学】

全国の平均正答率とほぼ同じ問題	全国の平均正答率より特に低かった問題
反復横跳びの記録の中央値を求める	$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する
「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」理由をグラフから説明する	四角で四つの数を囲むとき四つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する
	四角形 ABCE が平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する

・図形の問題の正答率が特に低く、全国を大きく下回った。たとえば、2枚の同じ三角定規を組み合わせて作った四角形が平行四辺形になる条件を説明する問題では、平行四辺形の性質をどのように説明していけばよいのかわからず、正答率も低く無回答率も高かった。今後は、錯角が等しいなど図形の性質について説明する問題を解いていき、目をつけるポイントや手順をマスターしていこう。

・ $(5x+6y)-(3x-2y)$ の問題で、本校の生徒は「 $2x+4y$ 」「 $8x+8y$ 」の誤答が目立った。たくさん問題に慣れていこう。

### 【質問紙】

全国より肯定的回答が特に高かった設問
将来の夢や目標をもっていますか(全国 68.6% 本校 88.9%)
新型コロナウイルス感染拡大の影響で休校期間中、学校からの課題でわからないことがあったとき、家族に聞いた(全国 44.3% 本校 56.9%)
1,2年生のときに受けた授業でコンピュータなどのICT機器を週1回以上使った(全国 33.7% 本校 55.6%)
家庭での過ごし方で全国との差が大きかった設問
学校の授業以外に平日1日当たり2時間以上勉強する(全国 41.8% 本校 20.9%)
土曜日曜日など学校が休みの日に2時間以上勉強する(全国 53.5% 本校 30.5%)

・休校中、勉強に不安を感じた割合は(全国 62.8% 本校 62.5%)全国とほぼ同じだったが、計画的に学習を続けた割合は(全国 37.6% 本校 29.2%)全国を下回った。不得意分野の克服のため、家庭学習に計画的に取り組もう。 【裏面に問題掲載】

【全国との差が最も大きかった数学の問題】

6 自然数を5つずつに区切った表があります。この表で、縦に2つ、横に2つの数が入る四角で4つの数を囲みます。例えば、右の図1のように四角で4つの数を囲むとき、左上の数は3、右上の数は4、左下の数は8、右下の数は9になります。

図1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

優太さんと真菜さんは、右の図2のように、4つの数を囲んで、それら4つの数の和がどんな数になるかを調べています。

図2

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35

1. 2. 6. 7 のとき  $1 + 2 + 6 + 7 = 16 = 4 \times 4$   
 9. 10. 14. 15 のとき  $9 + 10 + 14 + 15 = 48 = 4 \times 12$   
 22. 23. 27. 28 のとき  $22 + 23 + 27 + 28 = 100 = 4 \times 25$

優太さんは、これらの結果から、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になると予想しました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、4つの数の和は4の倍数になることが成り立つかどうかを下のように確かめます。下の  に当てはまる式を書きなさい。

12, 13, 17, 18 のとき  $12 + 13 + 17 + 18 = 60 = \text{  }$

(2) 二人は、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることが成り立つかどうかについて話し合っています。

優太さん「左上の数が1のとき、左下の数が6になっているね。四角で4つの数を囲むとき、左上の数に5をたすと左下の数になっているよ。」  
 真菜さん「そうなるのは、自然数を5つずつで区切っているからだね。」  
 優太さん「左上の数を  $n$  とすると、左下の数は  $n + 5$  と表すことができるね。」  
 真菜さん「右上の数と右下の数も  $n$  を使って表して、4つの数の和について調べてみよう。」

「四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になる」という優太さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

説明

$n$  を自然数として、四角で囲んだ4つの数のうち、左上の数を  $n$  とすると、右上の数は  $n + 1$ 、左下の数は  $n + 5$ 、右下の数は  $n + 6$  と表される。これら4つの数の和は、

$n + (n + 1) + (n + 5) + (n + 6)$   
 =

# 郷中だより



・令和3年9月21日  
倉敷市立郷内中学校長発行  
学校だより 第17号

## 岡山県学力・学習状況調査結果から(1年生)

### 【国語】

県の平均正答率より高かった問題	県の平均正答率より低かった問題
小学校で習った漢字を正しく書く	「母はしばしば祖母とデパートに出かける。」 しばしばはどの言葉を修飾しているかを選択する
説明文の内容を読み取り、自分の考えをまとめる レポートや作文など目的に応じて自分の考えや理由を明確に書く	「石の上にも三年」「鬼に金棒」「猫に小判」「住めば都」などのことわざの使い方

- ・基礎的な漢字を書く問題はよくできていた。故事成語、ことわざについても復習をしておこう。
- ・まとまった量の文章を正確に読み取り、自分の考えをまとめる力はついているので、文章の量が多くなっても正確に読み取り、指示された条件下で考えがまとめられるように、授業等で練習しよう。

### 【数学】

県の平均正答率より高かった問題	県の平均正答率より低かった問題
小数・分数の計算	分数の除法の文章問題を表した図を読み取る
角柱の体積を求める/円周の長さを求める式を選ぶ	「 $x-5=y$ 」の $y$ の値が 15 であるときの $x$ の値
縮図を使って実際の直線距離を求める	比の考えを利用して必要な牛肉の量を求める
3種類の乗り物に乗る順序が何通りあるか/4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるか	円グラフから割合を読み取り、基準量から比較量を求める
資料から最頻値を読み取る/度数分布表を完成させる	

- ・基礎的な計算問題や体積・円周の長さを求める問題の正答率が高い。
- ・一方、計算はできるが、図に表した文章問題を読み取る力や、円グラフから情報を読み取り、計算していく力をつけていくことに課題がある。いろいろな種類の問題に慣れていこう。

### 【質問紙】

県に比べ肯定的回答が特に高かった設問
将来の夢や目標をもっていますか(県 81.5% 本校 98.4%)
自分が住んでいる地域の人が好きである(県 86.2% 本校 96.8%)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある(県 60.7% 本校 77.8%)
家庭での過ごし方で県との差が大きかった設問
平日1日当たり3時間以上、テレビ、ビデオ・DVDを見聞きしている(県 25.5% 本校 36.5%)
家の人から言われなくても進んで勉強している(県 70.5% 本校 82.6%)
土曜日曜日など学校が休みの日に2時間以上勉強する(県 33.2% 本校 23.9%)

- ・1年生のほとんどの人が夢や目標をもっており、地域を愛し地域や社会をよくするために何ができるかを考えている。
- ・ほとんどの人が家庭で、自分から勉強している姿勢がすばらしい。学年が上がっていくにつれて、内容も多くなるので、今後もこの姿勢を続け、家庭学習の時間や内容を自分で調整していこう。

【裏面は2年生の結果】

岡山県学力・学習状況調査結果から(2年生)

【国語】

県の平均正答率より高かった問題	県の平均正答率より低かった問題
文法や語句(歴史的仮名遣い、故事成語など)	相手の発言を聞いて自分の考えをまとめる
中学1年生までに学習した漢字を読む・小学校で学習した漢字を書く	二つの資料を比較して、条件に従って自分の考えを明確にして書く

- ・昨年度の調査では、基礎的な漢字を書く問題や慣用句・文法に課題があったが、見事に克服できた。素晴らしい。続けよう。
- ・条件に従って自分の考えを書く問題では、グラフや表などの資料の読み取りが不十分であった。国語以外の教科でも資料の読み取りのポイント(コツ)を知っておく必要がある。

【数学】

県の平均正答率より高かった問題	県の平均正答率より低かった問題
タイルである形をつくるために、示された文字式で求めることができる理由を説明する/資料からの読み取り	比例反比例で、 $x$ の値が変化するとき $y$ の値がどのように変化するか
正の数負の数など基本的な計算や一次方程式を解く	おおぎ形の面積を求める

- ・基礎的な計算問題や作図の基本は理解できている。
- ・根拠を説明したり、資料を読み取って説明したりする問題に課題がある。これらの問題では無回答率も高いので、いろいろな種類の問題に慣れ、説明をするために抑えておくポイントや手順を把握しておこう。

【英語】

県の平均正答率より高かった問題	県の平均正答率より低かった問題
英文の内容を正確に聞き取る	対話の内容を聞き、資料をもとに英語で答える
自分の出身地を英文で書く	与えられた情報をもとに友達について紹介する英文を書く

- ・概ね、聞き取り問題はよくできていた。in March の in が to になっていたり in がなかったりした誤答が目立った。
- ・can の後は動詞の原形、命令文の語順、when と where の意味の覚えまちがい、三単現のSなど細かい部分でのミスが多かった。コミュニケーションができることも大切だが、書く問題では正確な英文で書けるようにしておこう。

【質問紙】

県に比べ肯定的回答が特に高かった設問
将来の夢や目標をもっていますか(県 74.1% 本校 96.0%)
学級の同級生は、授業に集中していた。(県 79.3% 本校 92.0%)
先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところをわかるまで教えてくれた(県 82.7% 本校 92.0%)
家庭での過ごし方で県との差が大きかった設問
平日、学校の授業以外に1日当たり2時間以上勉強する(県 30.6% 本校 16.0%)
土曜日日曜日など学校が休みの日に1日当たり2時間以上勉強した(県 36.8% 本校 22.0%)

- ・2年生のほとんどの人が夢や目標をもち、授業にも集中している。素晴らしい。
- ・現在学習していることは理解できている、2学期以降、学習内容も多くなり前に習ったことを忘れることもあるので、家庭学習の習慣をつけ、時間や内容を自分で調整していこう。